

㊦ C-28 幼稚園児椅子の人間工学的研究  
第1報 園児椅子の寸法について

奈良女子大 太田 昌子  
花岡 利昌

1. 幼稚園における園児椅子は、幼児の生理的・心理的特徴から考えて、その寸法、構造、材質、デザイン等においては、成人用の椅子とは自ら異なった種々の要素を備えたものでなければならない。幼児用椅子の現状においては、人間工学的な見地から、これらの点についてまだ検討すべき余地が多分にあるのではないと思われる。今回はまず、園児椅子の適正寸法について報告する。

2. 園児椅子の座面高・奥行などをきめるのに必要な身体寸法についての資料を得るため、主として当女子大附属幼稚園児を対象とし、約10か所の身体部位についての計測を行なった。これを3歳児・4歳児・5歳児別にまとめるとともに、現在行なわれている椅子の寸法に関する人間工学的諸説、ならびに附属幼稚園における園児の生活の観察をもとにして、園児椅子としての寸法について考察を試みた。

3. 3～5歳児について、椅子の寸法に関する身体計測値、ならびにそれぞれの年令に適切な椅子座面の高さ、幅、奥行等が求められた。また、幼稚園における観察により、園児椅子としての寸法を規定する上に考慮すべき2, 3の知見を得た。